

広行監第2号
令和7年7月28日

湖北広域行政事務センター
管理者 松居 雅人 様

湖北広域行政事務センター
監査委員 安原 徹
監査委員 鏑田 明

令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
および基金運用状況審査意見書の提出について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項および第241条第5項の規定に基づき審査に付された令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算および基金運用状況について審査を終了したので、その意見書を次のとおり提出します。

令和6年度 湖北広域行政事務センター一般会計 歳入歳出決算審査および基金運用状況審査意見書

1. 審査の対象

- (1) 令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計実質収支に関する調書
- (4) 財産に関する調書

2. 審査の期間

令和7年7月8日

3. 審査の方法

令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書について、関係帳簿、証憑書類等と照合を行い、計数の正確性、予算の執行状況の適否について審査を行いました。

4. 審査の結果および意見

(1) 全般事項

審査に付された令和6年度湖北広域行政事務センター一般会計歳入歳出決算書および同事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書は、関係法令に準拠して作成され、関係帳簿証憑書類等と照合のうえ、さらに内容について検討審査した結果、決算は正確であると認められました。

(2) 新施設整備運営事業について

新一般廃棄物処理施設整備事業では、令和7年10月より稼働を開始する汚泥再生処理センターのほか、ごみ処理施設の用地造成工事が着々と進められており、工事進捗に応じて工事費の支払額が増えたことで、歳出が大幅な増となりました。

この事業は近年の物価上昇の影響を受け、令和6年度に一部事業の変更契約がなされました。今後、熱回収施設の工事が本格化するにあたり、各年度の事業費も増加していくと思われませんが、事業費だけでなく脱炭素社会への貢献ができる施設であることの説明ができるよう努めていただきたいと思います。

新施設の稼働後は、公会計を活用した財務分析やPFI事業者のモニタリングを実施していくための管理能力等、幅広い分野で活躍できるよう職員研修の実施を行うなど、センター職員が十全に能力を発揮できるような体制の構築をお願いします。

(3) 未収金にかかる不納欠損処理について

可燃ごみ持込処理手数料及び資源ごみ売却手数料の未収金について、配当請求の確定判決から10年の時効を迎え、債権放棄の議決を得られた案件も含め、令和6年度で不納欠損となっています。

センター運営費の一部は、市民の税金である負担金で賄われているため適正な収納事務を行うとともに、未納等には引き続き迅速な対応を心がけていただきたいと思います。

(4) 斎場の運営管理について

前年決算と比較すると斎場での火葬件数は増加しており、今後も増加する可能性が考えられるため、件数が増加した場合にも火葬業務を滞りなく対応できるよう業務体制の整備をお願いします。

(5) 育児休業の積極的な取得について

センター職員の中にも、育児休業を取得している職員が複数おられるとの説明を受けましたが、女性職員のみではなく男性職員も積極的に育児休業を取得しやすい、柔軟な休業取得体制の整備に努めていただきたいと思います。

(6) むすび

センターが担う業務は市民生活の公衆衛生確保のために必要不可欠であり、安定的に処理を継続することが求められます。今後についても、職員が一丸となり、業務が円滑に遂行されることを期待します。

5. 審査の概要

(1) 決算総括

令和6年度における一般会計の予算総額は、50億3,701万6,000円で、これに対する決算総額は、歳入は50億2,235万3,456円、歳出は、48億8,811万1,542円、歳入歳出差引額、実質収支額は、1億3,424万1,914円となっています。

令和5年度の実質収支額が2億1,201万6,374円であったことから、単年度収支は7,777万4,460円のマイナスとなっています。

(2) 歳入総括

収入済総額の予算額に対する比率は99.71%となっています。調定額に対する収納比率については、99.91%となっており、使用料および手数料と諸収入（資源ごみ売却）とを合わせ、427万8,940円が令和6年度をもって不納欠損となりました。

収入総額に対する割合（構成比）については、分担金及び負担金が46.84%、使用料及び手数料が10.13%、国庫支出金が4.99%、財産収入が0.04%、繰入金が3.32%、繰越金が4.22%、諸収入が1.50%、組合債が28.96%となっており、分担金及び負担金と組合債

が収入の7.5割を占める結果となっています。

(3) 歳出総括

予算額に対する執行率は97.04%となり、支出済総額は前年度比133.97%となっています。

歳出総額に対する割合（構成比）は、議会費が0.03%、総務費が2.38%、衛生費が96.87%、公債費が0.72%となっており、歳出全体において衛生費が多くを占める結果となっています。

(4) 財産に関する調書

ア 土地、建物

旧木之本斎苑解体による建物延べ床面積の減少（921.75 m²△）

クリーンプラント周辺用地の売却（846.00 m²△）

イ 物品

霊柩車の売却（2台）

旧木之本斎苑で使用していた霊柩車を売却

ウ 基金

基金の年度末現在高は、施設整備基金2億9,298万5,865円となっています。